

Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

挑戦すれば、成功もあれば失敗もあります。
でも、挑戦せずして成功はありません。
挑戦しないことには、始まらないんです。
野茂 英雄 (NPB・MLB の元選手)

入試で優遇される資格とは？

平成25年に公表された「平成26年大学入学者選抜実施要項」から、資格・検定試験についての記載が独立しました。この記載は今年度の要項においても踏襲されています。これは、**資格・検定試験を通じて入学者の能力・適性や学習の成果、活動履歴等を多角的かつ客観的に評価**することを大学に求めるためです。

これにより、資格・検定試験等の成績の活用場面が増えることが予想されます。推薦入試では「**学問分野に関する興味関心を有していること**」を条件としてあげている大学も多くあり、資格・検定試験は持っていれば興味関心の高さを示すものとして活用できます。

* 「資格・検定」が出願条件？

推薦入試で「資格・検定」をどの程度、出願の条件にしているかを見ると(2010年データを参照)、国公立大学でのべ108募集単位(全2095募集単位)、私立大学でのべ815募集単位(全8405単位)となっており、もともと出願の条件にしている大学は多くないようです。

ただし、受験生にとっては「資格・検定」で自分の独自性を際立たせることができること、また出願の前提条件になっているため出願者が限定されることから、チャンスを生かせる入試だと言えるでしょう。

* 具体的にはどんな「資格・検定」？

「資格・検定」の種類別に分類したところ、国公立大学、私立大学ともに、**最も多いのが「GTEC・TOEIC・英語検定等、英語関連」**となっていることから、「資格・検定」の観点では、**英語に長けた人材を特に選抜しようとしている大学が多い**様子がわかります。

次に、「**情報処理・ITパスポート等情報関連**」、「**工業関連**」、「**簿記関連**」が多くなっていますが、これらは専門教育を受けた生徒が取得するケースが多く、間口が広いとは言いにくい「資格・検定」です。逆の視点から言えば、本校の商業科の生徒のように複数取得している受験生にとっては、入試の場面でより有効に活用できる可能性があります。

* 「資格・検定」を入試の武器に！

資格や検定は、目標として意識しやすく、頑張った成果が目に見えて得られるものです。しかも、社会に出てからも役に立ちます。最初から入試を主目的として取得するケースは少ないと思われませんが、**自分の興味関心・意欲のあかし**として入試でも活用できるかどうか、志望大の入試条件について確認をしてみても良いでしょう。商業科の生徒は、検定合格に向けて年間を通して頑張っています。普通科の生徒も1・2年のうちから積極的に英検・漢検・数検にチャレンジして、入試へのアドバンテージにしましょう。

